（三）第797号　昭和27年9月25日 第三種郵便物認可　みいけ　（毎月1日、16日）　昭和41年4月1日（金）

不当弾圧追悼集会

（上）三月二九日四山支部で久保さん追悼集会（下）三池斗争当時の暴力行為

久保さん七年忌

昭和三五年三月二九日、会社側のやとった右翼暴力団（二〇〇名）によって、スクラムを組んでいた久保清氏（当時三二才・四山支部機充工）が四山鉱正門前で刺殺されてから丸六年を迎えました。当時、政府独占資本は、安保体制づくりの首切り合理化を強行し資本主義体制を強化する体制的合理化を押しすすめるため、それに対決する労仂者を徹底的にたたきつぶすことに必死となり政府独占資本が一体となって弾圧しました。

高まってゆく労仂者階級の団結においつめられ狂暴化した政府・独占資本の不当弾圧の犠牲となって、久保清さん、安保斗争での樺美智子さんは殺されたのです。

今年七年忌を迎えた三池労組は四山支部前の久保清氏記念碑前で三月二九日午後四時より、各支部職場代表、主婦会各分会代表によって、全組合員、主婦会の決意をこめて「不当弾圧久保清氏追悼集会」を行なった。

現在もなお、久保さんをたおした不当弾圧は職場に地域に生きており、なお一層強化されていることを認識し、われわれの生命と生活を守るためそれに対決する決意を久保さんの霊前に誓った。

自民党多数独裁をねらう小選挙区制

小党は排除

昨年の参議院選挙では、自民党の得票率は五割をわっている。過去、選挙のたびに自民党の票数はへり、自民党は深刻な危機感をもっている。

そこで現在の一選挙区に三人～五人の代議士を出す中選挙区制を一選挙区で一名の代議士を選出する小選挙区制で自民党の当選数をふやそうとしている。

まず一人一区制では、二者択一で一人の代表でしか選挙民の意志は反映しないし、それ以外は全部死票となる。しかも自民党以外の票は複数の政党に分散しているので、なお一層自民党が選出される率が高まる。

次に選挙民のいろんな考え方を議会に反映することができなくなる。つまり小選挙区制は大政党には有利だが、小党は死票の中にうもれ、決定的に不利になることは明らかである。

このことは、制度によって国民の少数意見を封じとめる民主主義否定にほかならない。

憲法改悪の意図

独占資本の体制維持確立のつよい要求のまえに、自民党は不当な合理化攻撃を合法化する憲法改悪の必要にせまられている。

そのために、自民党は議会の三分の二を占め、憲法改悪の発議権を獲得しなければならない。このような意図をもって、日韓条約強行採決でもみられるように、国民の意志を反映できない小選挙区制をとって、民主主義をふみにじろうとしている。

比例代表制のからくり

小選挙制の欠陥をカバーするという意味で、比例代表制を加えるといっている。

比例代表制というのは、各党の得票率に応じて、一定の議席を配分するということである。

ところがこの比例代表の配分議席数は、定員五〇〇名として、その五分の一の一〇〇名程度をあてるといっている。その五分の一の根拠も明らかではないが、それより小選挙区制一本では、野党が承知しないだろうから、反対を緩和するために比例代表制でイロをつけているにすぎない。

また小選挙区になったら、候補者は人と人とのつながりをつけやすく、金をバラまいてやる個人選挙になりやすい。

民主主義と平和を否定する政府・自民党

小選挙区制になったら社会党の議席は激減し、自民党の議席は圧倒的にふえる。このことは自民党多数独裁の道につながっている。

現在でも自民党は独占資本の意図をもって、あくどい手段でのぞんでいる。それに対する国民の批判を、さらに議席の数の上で抑え絶対的な多数独裁制を確立しようとしている。

その基盤の上にたって、日本独占の危機感にこたえる政治体制をつくることが小選挙区制のねらいである。

小選挙区制は、日本の民主主義と平和にかかわる基本的な政治問題である。

指を切り落としても休むな

神岡鉱山

合理化がはげしくなり、災害がふえるなかで、いんちきとゴリ押しの〝休業災害絶滅運動〟がすすんでいる。

神岡鉱山（岐阜県）の栃洞選鉱場では、さいきん、指をきり落とし、全治二週間をこすようなケガでも〝不休傷〟。坑内では片腕を首からつった人まで現場で仂いている。組合の職場委員会が、この問題を追及すると、会社の副保安技術管理者は「会社の保安対策はもうかる範囲での保安第一だ。もうけることが先決だ」とうそぶき、選鉱課長などは「公、私傷を問わず、仂きにくるよろこびをもて」と発言した。

職場では「これじゃ死ぬ以外のケガは公傷にはいらなくなるぞ」との怒りがたかまっている。

阪急バス車掌募集

大阪阪急バスで車掌を募集。

資格　中学卒業以上で二〇才以下の女子を採用。

申込み　四月二三日まで　三池労組へ

この土地は渡せない

空港設置反対広がる

富里村の農民たち

あいつぐジェット機の事故で、にわかにクローズアップされた千葉県富里村の新国際空港設置をめぐって、現地では根づよい設置反対運動がつづけられている。

政府が考えている新空港は羽田の七倍、たて一二キロ、横五キロの広大なもの。このほか付属施設や騒音のため、たちのきをせまられる地域は富里村のほぼ全部、八街（やちまた）町、山武町、芝山町、酒々井（しすい）町から佐倉市、成田市など千カ市町村におよぶ。

畑も〝空港反対〟

現地に一歩足を入れると、田畑にはひとあぜごとに「新空港反対」のむしろ旗がたてられ、どの農家の入口も空港設置反対同盟のポスターがとりつけられ、静かなかに緊張がただよう。全体がなだらかな高地で、水稲のすくない富里ではいますいかの「めつけ」にいそがしい。これは、夕顔の幹にすいかを接木して丈夫な苗をつくる作業で、高い技術が必要。このために入って京浜工業地帯の労仂者や東大生がたくさん援農隊として村にきたが、この「めつけ」には完全にお手あげだったらしい。

賛成派は少数

反対同盟の運動がいちばんすすんでいる住野部落に三月六日、団結小屋と見張り塔ができた。行動隊長の小山小太郎さんが孫を背負って、小屋から道路をにらんでいた。「わしは古い社会党員だが住野では一番さきに空港反対といいだしたんだ。部落では二百六十戸のうち賛成派は十五戸に説得してしまった」。

百姓はやめない

富里の大工で、安保破棄千葉県実行委員会のオルグをしている丸山さんは、村の事情を話してくれた。明治以後開拓された土地で、長老のなかには自分の手で原野を切り開いた経験をもっている人が多い。それだけに土地を失なうことにはがまんがならないのだ。平均二町歩以上の耗地のうち、田んぼは自家米ていどしかとれぬが、落花生は全国の六割、すいかは京浜の市場を独占、裕福な農家経済を形づくっている。その証拠に、どの家も高い針葉樹の柵で囲まれ小型トラックが一戸一台平均はある。空港へ土地を売って百姓をやめる理由はなにもない。

労組も町民共闘に

丸山さんの話はつづく。反対運動は中農と高等教育をうけた人の間から出発したが、いまでは富里村の三十部落の全部に反対同盟が生まれ周囲の町村にもオルグにゆく。この結果、全遍八街支部を中心に八街町民共闘などもできた。村会へ反対決議を要求したら石井村長は「ほんなら村民の署名を半分ぐらい集めてみろ」と開きなおったとき、反対同盟は「よし、やったるっぺ」とたちまち四分の三の署名を集めた。

立川を返せ……

村のすいか出荷組合の幹部大黒屋さんが小型トラックに便乗させてくれ、話してくれた。「賛成派の農民は畑見りゃわかる。遊び人か政治家の野心ある連中だから荒れ、東京の西には立川、横田ってでっかい飛行場あんのに。その一つも返えしてくれりゃこんな問題おきないんだ」といいのこしてエンジンをかけた。そのキーには、「交通安全」とかかれた成田山のお守りが下がっていたが、裏には「空港阻止」とかきこまれていた。

× ×

北海道オルグごくろうさまでした

雨竜労組　鈴木達雄

拝啓、先般は北海道雨竜の僻地にまでオルグとして来組せられ、いろいろとご指導やら激励やらして下さり、厚く御礼申し上げます。

オルグ在組中は皆さんのお気に召す接待ができずに、まことに申し訳ありませんでした。

座談会にて三池の実態を詳細にわたりご説明をいただき、われわれ雨竜労組の若人たちは長期斗争の激しさと根深さを間の当りに知り、深く感激致しております。

また一方早急にCO中毒患者の特別立法化に対して、労仂者は一丸となって押し進め、勝とらなければなりません。

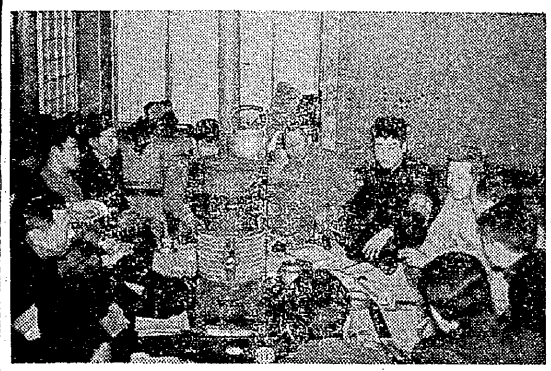
さて、この度オルグ在組中に写した北海道雨竜の記念写真ができ上がりましたので同封します。北海道の大雪を忍んで下さい。カメラが悪く仕上がりがうまくできませんので申し訳けありません。腕では決し悪いのではありません。本当にわれわれも記念になりました。どうか中村電気技師さんにも差上げて下さい。

雨竜の今日このごろはすっかり春らしき暖さで、積雪も次第に溶けて行き、気分のよい日がつづきます。この分ですと四月ごろまでには道路が顔を出すでしょう。そろそろ北海道の近海ではニシンが獲れる時期となり、食卓をにぎやかにして春の宴が行なわれます。

春斗もいよいよ本格化して参りました。今年こそは要求を完遂しなければなりません。共にがんばりましょう。雨竜の青年部もよろしく申しております。お元気で！

三月三日

雨竜労組一同

書記　鈴木達雄

山本・中村様